



発表者がお薦めの本の魅力を熱く紹介した
 ビブリオバトル6日、八戸市のデーリー
 東北新聞社メディアホール

WEB
 デーリー東北
 動画配信中

知的書評合戦
**BIBLIO
 BATTLE
 in HACHINOHE**

田沢さん(階上) 頂点

チャンプ本「100万回生きたねこ」

知的書評合戦「第3回ビブリオバトルin八戸」の決勝戦が6日、八戸市のデーリー東北新聞社メディアホールで開かれた。青森、岩手両県から参加し、高校生、大学生、一般A、Bの各部門で予選を勝ち抜いた4人のファイナリストによる「全世代対決」。チャンプ本に輝いたのは、田沢倭さんの『100万回生きたねこ』(佐野洋子著)が輝いた。準チャンプ本には、佐々木ももさん(16)『高校生生の部、八戸市』の「たまたま」(まはら三桃著)が選ばれた。

(田中周菜、小林彩花)

発表者は5分の制限時間の観戦者が「一番読みたく、情を込める練習の成果を発内で、自身のエピソードを なった本」に投票した。揮できて良かった」とほっ交えながら、本の魅力をた チャンプ本を獲得した田とした表情。「普段から絵つぶりと紹介。約120人 沢さんは「緊張したが、感本をよく読む。一日を通じ

て、新たな読んでみたい本ができた」と話した。準チャンプ本に選ばれた佐々木さんは「まさか自分がもらえるとは。びっくりしたけれどうれしい」と感想を語った。

決勝前には、八戸市内の書店員3人と、特別ゲストの作家高橋弘希さんによるデモバトルが行われた。4人はそれぞれお薦めの本の魅力を熱く語り、会場を盛り上げた。

デモバトルのチャンプ本には、小井川雅洋さん(カネイリ)の「広島に原爆を落とす日」(つかこうへい著)が選ばれた。その他の紹介本は、大久保勇人さん(伊吉書院)の「おおきな木」(シエル・シルヴァス・ティン著)、及川晴香さん

(木村書店)の「ちがうねーミン谷の書屋」(トーベ・リン・ジョン・クラッセン著)、高橋弘希さんの「ム」
 【8日付特集面で詳報】